

学校教育目標	かもいの[な・か・ま] 一人じゃないよ！ ○[な]かよしいっぱい<徳・開> 友だち、学校、鴨居の「まち」が大好き。「ひと・もの・こと」とよりよい関係を築く子どもを育てます。 ○[か]んがえて動き<知・体> 自ら問題と向き合い、粘り強く取り組む子。元気に体を動かし、自他の体と心を大切にできる子を育てます。 ○[ま]っすぐに伸びる子<徳・公> 善悪を正しく判断し、自らを律することができる子。自分に自信をもち、何事にも前向きに取り組む子を育てます。			
	創立 148 周年 校長 堤 達俊 副校長 永島 裕美 2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 4	児童生徒数: 484 人 主な関係校: 東鴨居中学校、東本郷小学校、鴨居中学校、緑小学校、竹山小学校、白山高等学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	東鴨居中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
コミュニケーション力 [な] 他者を思いやり、認める力 [な] 主体性 [か] 問題解決力 [か] 判断力 [ま]	東鴨居中学校 東本郷小学校	仲間や地域とのかかわりの中で、ともに学び続ける子ども 豊かな感性を磨き、社会の一員としての自覚をもち、自立して生きていく子ども ○合同研修会・授業研究会、児童生徒交流、ヒガワモ学校運営協議会などを通して、小中学校間での連携を深める。 ○児童支援専任・生徒指導専任等担当者を通じた児童生徒指導上の課題の共有と解決を図る。 ○6年生と中学校の交流を深めることで、子どもたちが安心して、期待感をもって中学校に進学できるようにする。 ○様々な場を通して教職員間の交流、相互理解を深めていく。

中期取組目標	○本校の財産である、子ども、保護者、地域の「人」を大切に、学校を支えてくれるさまざまな「もの・こと」とのよりよい関係を築くことにより、鴨居の「まち」、鴨居小学校が大好きで、自らさまざまな「ひと・もの・こと」にかかわろうとする気持ちを育てます。 ○小さな成功体験を積み重ねることにより、自分の力を信じ、「頑張ればできる」という思いをもって、何事もあきらめず、粘り強くチャレンジする態度を育てます。 ○自分の心と体を見つめ、元気に体を動かし、自分の体と心も、他者の体と心も大切にしようとする姿勢を育てます。 ○どんな時でも、自らを律し、善悪を正しく判断し、何事にも前向きな心を育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力 担当 重点研究・評価部	①重点研究教科(国語科)を通して、豊かな学びを実現し、育てたい「主体性」へのアプローチを図る。 ②教科分担任制、少人数指導、交換授業等を実施し、よりきめ細かな指導を充実させる。 ③学状の結果を分析し、朝学習の充実、基礎基本の定着を図る。
徳 豊かな心 担当 人権教育部	①たてわり(イイかも)班の活動を充実させ、「鴨居のな・か・ま」の実現を子ども主体で進める。②道徳授業を核としたカリマネを展開し、日常的な道徳教育の充実に育成を図る。③地域人材、団体と連携した学習を展開し、人とのかかわりを広げる。④人権教育と絡めてオリパラ教育を推進し、共生的視点で運動への取組を進める。⑤
体 健やかな体 担当 体育・健康教育部	①体育・健康プランに基づき、年間を通して朝の会、中休み、昼休みを活用した体力アップに取り組む。 ②学校保健委員会の活動を通して、睡眠の視点から望ましい生活習慣の形成について、学校全体で考える。③日常の給食指導を充実させ、食に関する関心を高める。 ※人権教育と絡めたパラスポーツの取組
公開 地域連携 担当 地域連携担当	①地域の材(ひと・もの・こと)を開発し、それらを生かした学習を構想することにより、地域への愛着を深める。②地域コーディネーターと連携し、ボランティアの活用を図り、学習活動・環境を充実させる。 ③学校だより、学校HPの充実により、学校の活動を地域に発信し、地域の方々の理解を得る。
いじめへの対応 担当 子ども応援委員会	①子どもの状況をしっかり見とり、アンケート、YP等を有効に活用し、事態の早期発見に努める。 ②専任を中心に、迅速な初期対応に努め、必要に応じてSCや外部機関とも連携し、問題の早期解決を図る。③いじめや人権に関する定期的な研修を通じて、教職員の人権感覚を磨く。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 管理職・メンター研	①教職員一人ひとりの「よさ」を認め、それぞれが持っている力を十分に発揮できる環境づくりに努める。 ②メンターチームの共助による育成を推進するとともに、学年研、ブロック研、重点研を人材育成の場と位置付け、日常的な育成を進める。③会議、打ち合わせの効率化を推進し、働き方改革を進めていく。
児童生徒指導 担当 子ども応援委員会	①専任を中心に、教職員が児童・保護者情報を共有し、児童理解を深める。また、問題の早期発見に努め、チームによる迅速な対応、関係機関、家庭との連携を進める。 ②年度当初及び月例の会議において児童情報を学校全体で共有し、学校全体で児童理解に努める。
特別支援教育 担当 子ども応援委員会	①特別なニーズのある児童の情報を共有し、合理的な配慮を進めるとともに、児童理解に努める。 ②教職員が児童情報を密に交換し、交流級における児童の学びが相互に豊かなものになるように努める。 ③関係機関との連携を図り、「よりよい学びの環境」の視点で支援の共通理解を図る。
情報教育 担当 情報部	①ICT機器を授業づくりに効果的に取り入れ、教育活動全体で育む資質能力の育成を目指す。 ②教職員に対する研修の場を設け、情報教育を通して育つ児童の姿の共通理解を図る。 ③各教科・領域等と横断的学習を行い、多角的に情報を検討し責任をもって情報を扱えるようにする。
未来を開く志 担当 教務部・人権福祉	①SDGsの理解のための職員研修を積極的に実施し、ESDへの取組に生かす。 ②全教育活動において、SDGsを意識した授業や学校運営を行うことで、児童がグローバルな視点を持ち、持続可能な社会をつくらうという意欲をもてるようにする。